

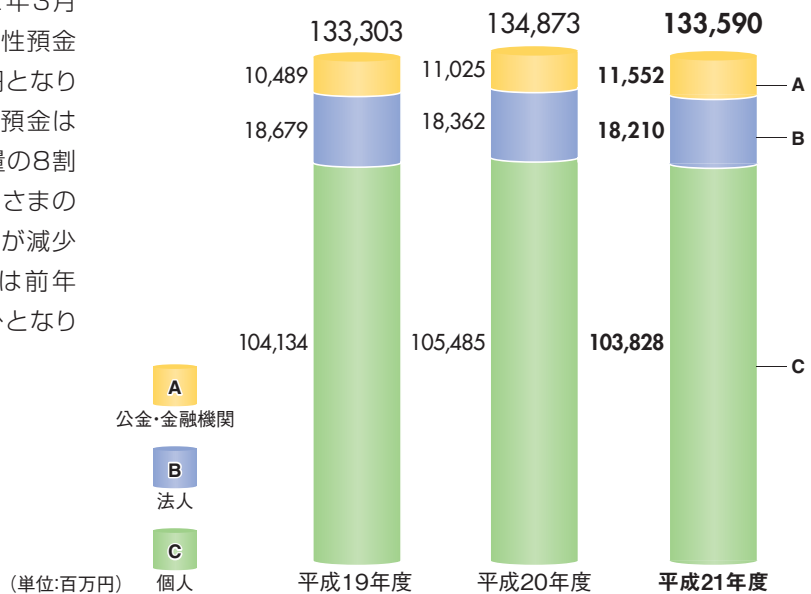
業績ハイライト

20年度の多額の不良債権処理により信用コストが減少、貸倒引当金の戻入益や償却債権取立益を計上したほか、金融市場の落ち着きから有価証券関連損益の回復、退職給付引当金の取崩益等もあり黒字回復いたしました。

預金積金残高

今期は、主力の個人預金が地元大手企業の経営破綻に伴う風評被害等により大きく減少したことから、総体として減少する結果となりました。

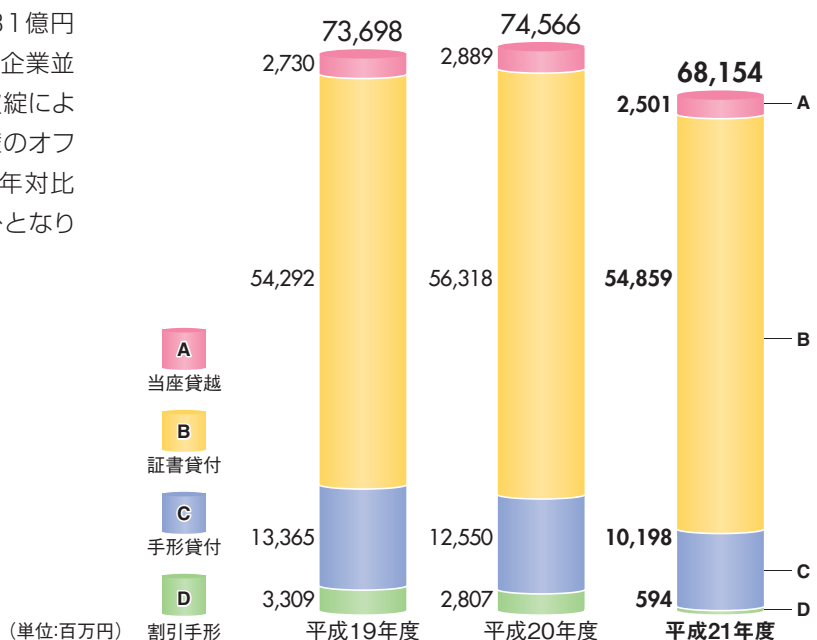
平成21年度(平成22年3月末)の総預金残高(譲渡性預金を含む)は1,335億円となりました。公金・金融機関預金は増加したものの、預金量の8割弱を占める個人のお客さまの預金と一般法人の預金が減少したことにより総体では前年対比12.8億円の減少となりました。



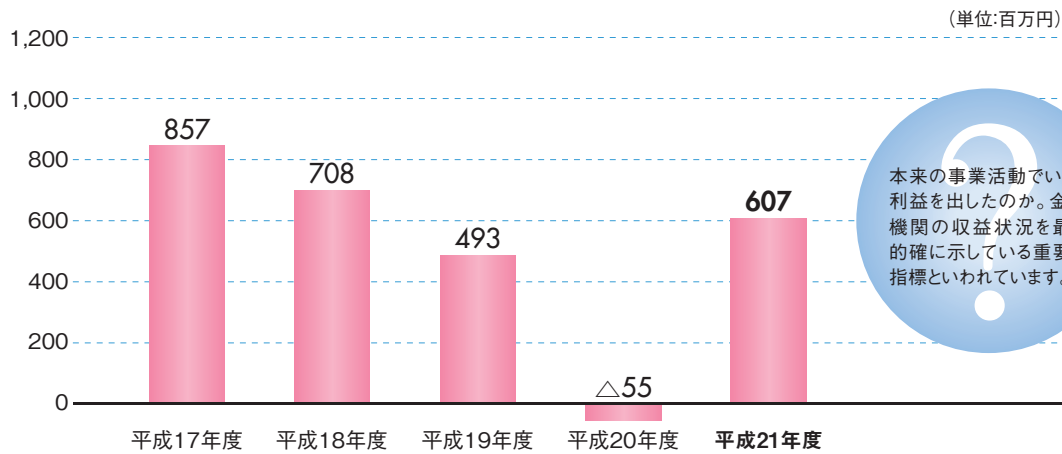
貸出金残高

今期は、地元大手企業ならびに関連企業の経営破綻にともない、一般法人が大きく減少したことに加え、個人の需要が落ち込んだことから減少しました。

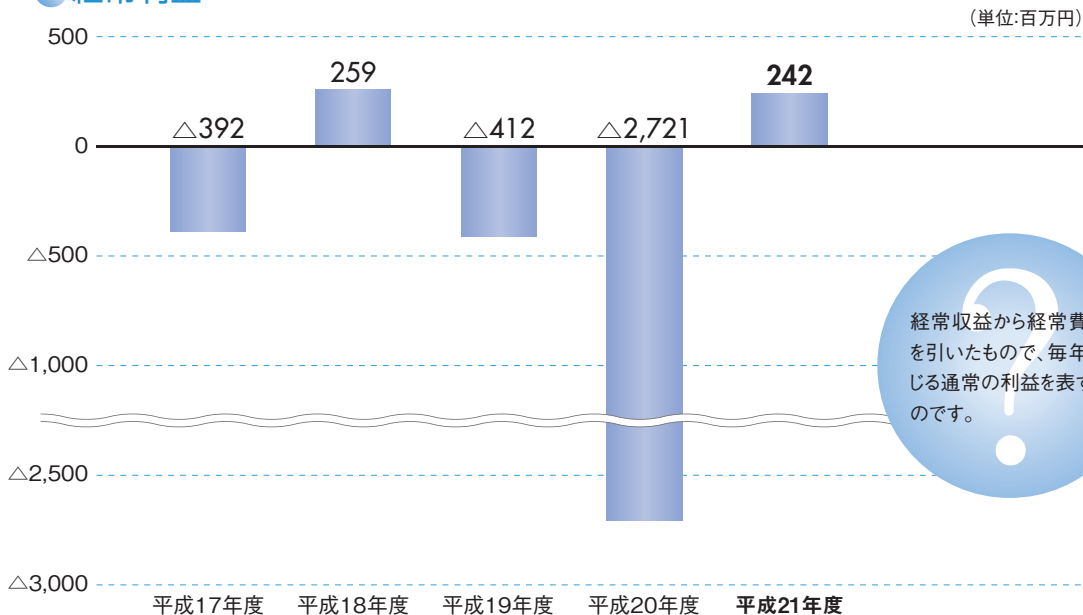
平成21年度(平成22年3月末)の総貸出残高は681億円となりました。地元大手企業並びに関連企業の経営破綻による残高減少や不良債権のオフバランス化等により前年対比64億円の大幅な減少となりました。



業務純益



経常利益



当期純利益

